

令和6年度 多職種連携研修会

令和6年10月24日(木)19:30~射水市役所本庁舎にて、令和6年度 多職種連携研修会が開催されました。射水市居宅介護支援事業者連絡協議会と在宅医療いみずネットワークと共同で多職種連携を図るため開催しており、ケアマネジャーのほか、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、保健師、栄養士、社会福祉士、福祉用具相談員、行政等89名の参加がありました。

今年度は「認知症」をテーマに、第1部は事例発表、第2部はきららかカフェ(射水市版ワールドカフェ)を行いました。



第1部 事例発表「2人でドライブに行こう！」

若年性認知症の女性を多職種連携しながら支援している事例を
のざわクリニック 野澤 寛 先生

なでしこの里居宅介護支援事業所 浦上 明日香 氏

だいもん訪問看護ステーション 横堀 優子 氏

特定非営利活動法人 ふらっと 松本 雅子 氏

より発表してもらいました。



専門職それぞれの立場でどのように関わり支援してきたか、本人夫婦だけでなく、専門職も連携を通して支え合った事例でした。

～皆さんの感想～

- ・いろいろな事例を聞かないと連携もわからないと思った。 ・ここまで深く関われる事業所があることを初めて知った。
- ・支援内容にそれぞれの職種の視点からわかりやすくまとめてあった。 ・夫婦の気持ちに寄り添った支援が素敵だった。
- ・大変なこともたくさんあると思うのですが、ご家族や支援者の皆さまの絆を感じる事例でした。
- ・大変なケースを多職種で支えており、感動しました。もっと詳細を聞きたいと思いました。

第2部 きららかカフェ「私が認知症になっても～これが私の生きる道～」

「認知症になっても〇〇したい!」という思いを語り合いました。

参加者の皆さんの思い(一部抜粋)



- ・家族と一緒にいたい ・居心地のいい場所で過ごしたい
- ・フルメイクして欲しい ・身綺麗にしてほしい
- ・忘れず美容院に連れて行って
- ・大好きな動物と過ごしたい ・犬とお出かけしたい
- ・デートがしたい ・自由に外出したい ・釣りを続けたい
- ・自分で決めたい ・役割が欲しい



「やりたいことが続けられるように」と自分たちが思うように、利用者の方にもそのような思いで支援ができればいいですね。



～皆さんの感想～

- ・認知症になっても制限されずに自由に生活したいと思いました。様々な職種、年代の方の意見を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・怖いと思っていた先生の違った一面が見られてよかった。
- ・自由に素直に多職種が意見等交流できることが、とても有意義なことだと思います。